



川平地区社会福祉協議会

かわだいラッコ



平成 26 年 8 月 21 日

準備中・・・

【「かわだいラッコ」とは?】

0 歳児から未就学児を対象とした“子育てサロン”で、お母さん同士や子ども達の交流の場です。川平地区社会福祉協議会と川平赤十字奉仕団が主催しており、平成 15 年から始まって今年で 12 年目になります。サロンは、主に第 4 金曜日の 10～11 時半に川平コミュニティセンターで行われ、お母さん方はお互いに情報交換をしたり、子どもたちは様々な絵本やおもちゃで遊んだり、ゆったりとした時間を過ごします。その他に年 6 回、児童館と共催で楽しい行事も企画しており、保健師の方に来てもらい子育てに関する相談を受け付けることもあります。

【サロンの様子】

地区社協の方や主任児童委員さん、ボランティアさんなどサロンスタッフの方たちも一緒になって、子ども達とおもちゃを使って遊びました。お母さん方は、家での子どもの様子などを話しながら、お互い子育てについて様々な気付きを感じているようでした。子どもたちは自分から好きな遊びを見つけ、お母さんにくっつきながらも周りにいる大人と遊びを楽しみました。ものすごいスピードでハイハイをする 1 歳の子どもに「**はやいね～。もう少しで歩けるようになるんだね。**」と地域の方が声をかけたり、おぼんにコップをのせて運んでいる 2 歳になる子どもに「**お～！すごいね！**」と感動したり、子どもたちの姿にみなさん微笑んでいました。

和やかな雰囲気です



活動に参加してみて

子育て中のお母さんにとって、同じ子育てをしているお母さんや地域のボランティアの方が身近にいることは、心強いものだと思います。サロンには、子育てが終わったボランティアの方も参加しているので、子育ての相談にのってもらったり、お母さんがお子さんと離れてみる時間もできたり、ちょっとした息抜きにもなります。子どもたちもたくさんのおもちゃを使って広い部屋でのびのび遊ぶことで、様々な物に興味を持ちながらどんどん楽しさを見つけることができます。少子化・過疎化によって周囲の大人が子どもたちと交わる機会の減少や、子育てに不安を感じることも多くなる中、気軽に楽しく過ごせる、ふれあいの場があることは大変貴重な機会だと感じました。

かわだいラッコはお母さん同士、悩みや喜びを共有したり、すでに子育てを終えた方と話したりすることで、安心と成長を感じることができる場所です。地域全体で子どもを育てるこの活動に本当に温かみを感じました。

みんなで子どもと
遊びます！



取材編集

宮城学院女子大学 伊藤悠
東北福祉大学 今野亮太